

参議院選挙・選挙区の予定候補者発表にあたって

2015年11月5日

日本共産党石川県委員会

参議院選挙・石川選挙区をたたかう日本共産党の公認候補者として、亀田良典(りょうすけ)・党県常任委員、党県くらし・福祉対策委員長を擁立します。亀田さんは、13年参院選(石川選挙区)、昨年の衆院選(石川1区)でも候補者として奮闘しました。

日本共産党は、亀田良典候補を先頭に、比例代表では県内5万7千票、全国850万票(得票率15%以上)を実現し、たけだ良介比例候補の当選をはじめ、8名の日本共産党比例候補全員の当選をめざします。選挙区でも安倍暴走政治ストップの先頭に立って奮闘する党として、議席獲得に果敢に挑戦します。

今回の参議院選挙は、安倍自公政権が空前の規模で広がった国民の運動と世論に背いて、憲法違反の戦争法を強行した事態を受けて行われる国政選挙です。戦争法の強行は、憲法9条を蹂躪して、自衛隊の海外での武力行使に道を開くものです。同時に、立憲主義、民主主義、法の支配という国の存立の土台をも覆す重大な違憲立法であり、一刻たりとも放置できない非常事態をつくりだしました。憲法違反の戦争法を廃止し、日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどすことが最優先で求められています。今度の参議院選挙では、「立憲主義・民主主義か、反立憲主義・独裁政治か」が鋭く問われ、憲法違反の戦争法を強行した自民、公明に退場の審判をください選挙にしなければなりません。

日本共産党は、戦争法廃止と立憲主義の回復をはかるため、その一点で一致する「国民連合政府」を実現することを提案しています。日本共産党は、「戦争法廃止の国民連合政府」実現へ、野党間で戦争法廃止の政治的合意、政権合意、選挙協力の合意の達成のために誠実に力をつくし、合意ができれば、「勝つために必要なこと何でもやる」立場で全力をあげます。そして同時に、比例代表選挙を軸に日本共産党の躍進のために全力を尽くします。

消費税の増税、雇用と社会保障の大改悪、原発再稼働の推進、TPP推進、沖縄辺野古への新基地建設のおしつけなど、安倍政権のくらし・いのち破壊の暴走は、国民との矛盾を一層深刻なものにしています。安倍内閣を退陣に追い込み、国民のくらし・いのちをまもる政治を実現していくことが切実に求められています。各分野の「一点共闘」を大いに発展させるとともに、安倍暴走政治と正面から対決し、国民的対案を示し、国民との共同を広げてきた日本共産党が躍進してこそ、願い実現で大きな前進をつくりだせます。

日本共産党は、「安倍暴走政治ストップ、内閣打倒、くらし・いのちまもる政治」を実現するために全力をつくします。「くらしを破壊する消費税10%はキッパリ中止を」「原発再稼働許さない」「基地のない沖縄を」「TPP参加を許さず日本の農業をまもれ」など、切実な国民の願いを大きく結集して選挙戦をたたかいます。日本共産党の理念・政策を知ってもらう活動を重視し、比例代表で日本共産党の支持を広げることを軸に、選挙区の躍進勝利をめざします。

13年参議院選挙、14年総選挙、15年いっせい地方選挙でつくりだされた躍進の流れを、さらに発展させる日本共産党の躍進を実現し、国民連合政府実現への新たな第一歩を踏み出していきます。比例代表選挙では「日本共産党」、選挙区では「亀田良典」に、有権者のみなさんの大きなご支援をころからお願いします。